

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育内容環境 Environment instruction method		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修・教職課程必修 (幼稚園教諭二種))	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目、幼稚園教諭二種免許に必要な科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目、幼稚園教諭二種免許に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保田隆範	本館3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
<p>領域「環境」の意義を捉え、その指導法の習得を目指す。 その為に、人間が生きていくうえで必要な環境（人的、物的、自然、社会等）を理論的に理解する。 また、自分で体験することや調査、教材研究等の手法を多く取り入れ保育の実践力を身につけていく。</p>				
授業の目標				
<p>①子どもが周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わるができる環境とは何かを物的・人的視点から理解し、具体的指導方法が実践できるようにする。 ②年齢に応じた指導計画の作成ができるようにする。 ③保育教材の適切な選定や使用方法を身に付けるられるようにする。 ④子どもにとっての遊びの重要性と保育者の関わり方を考え、遊びの環境を構成することができるようにする。</p>				
授業の方法				
<p>グループワークを中心とし、実践に即した保育計画の作成や学生同士による模擬保育を行う。 また、保育実践を豊かにするための保育教材の製作等も行う。</p>				
学習の成果（学習成果）				
<p>①子どもの心身の成長にとって各環境が重要な役割を果たしていることを十分に把握した上で、現場に応じた保育計画の作成や保育環境の構成をすることができる。 ②作成した保育計画等を基に、子ども達の状況に応じた関わりや指導が柔軟に対応できる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	授業概要（シラバスの説明、領域「環境」について、実習に伴う授業追加について、課題について）			
第2回目	幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「環境」のねらい及び内容			
第3回目	キャンパス自然マップと好奇心の中から科学を感じる			
第4回目	五感を働かせる保育の環境と遊び① 自然と風を感じる環境製作			
第5回目	五感を働かせる保育の環境と遊び② 絵の具の活用			
第6回目	五感を働かせる保育の環境と遊び③ 新聞紙の活用			

第7回目	五感を働かせる保育の環境と遊び④ 牛乳パックの活用	
第8回目	五感を働かせる保育の環境と遊び⑤ 数量・図形に親しむ環境製作	
第9回目	季節感を味わう一季節の行事と行事の由来	
第10回目	保育者と飼育・栽培 ビオトープとは	
第11回目	グループ活動による保育計画の作成①指導案の作成ー幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を踏まえてー	
第12回目	グループ活動による保育計画の作成②模擬保育の実施・振り返り	
第13回目	保育環境をデザインする① 理想の保育環境 構想を練る	
第14回目	保育環境をデザインする② 理想の保育環境 イメージを具現化する	
第15回目	小学校との連携 生活科とのつながり 小テスト	
事前・事後学習	保育計画の立案、保育教材の製作にあたり事前に十分な構想を練る。 また、実践後には振り返りと改善内容を整理する。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	・授業を集中して聞き質問に対して積極的に答える。 ・必要なことはきちんとノートに取る。・協調性をもって授業に臨む姿勢。 ・準備、片付けなどに積極的に参加する。
レポート	30%	指示されたポイントが明確な内容である。提出期限を守る。（詳細は授業内で指示する）
調査報告書	25%	指示されたポイントが明確な内容である。提出期限を守る。（詳細は授業内で指示する）
小テスト	25%	15回目に実施予定（詳細は授業内で指示する）
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
授業内で適宜資料を配布する。 ・体験する調べる考える 領域「環境」田宮 縁著（萌文書林） ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省）		
履修上の留意点・ルール		
<ul style="list-style-type: none"> ●実務経験（職種：プレイリーダー・研修講師、職歴：通算6年） ・意欲的、積極的に学習課題に取り組むこと。遅刻厳禁。 ・製作に必要な教材、材料、用具は各自が持参する。 		